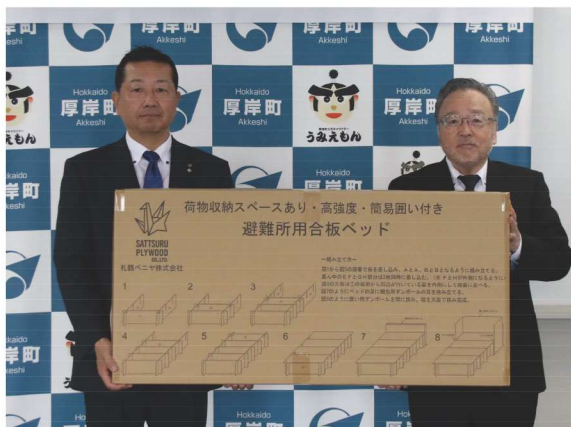




大『避難所用合板ベッド』寄贈式 規模災害に備えて

9月17日、役場2階庁議室にて、町内で馬放牧等の事業を手掛ける、株式会社町おこしエネルギー（沼田昭二代表取締役会長兼社長、小師馬商株式会社代表取締役社長）から地域貢献事業の一環として、防災力強化を目的とした、『避難所用合板ベッド』500台が寄贈されました。

避難所用合板ベッドは丈夫で使いやすく、組み立ても簡単に行うことができます。大規模災害に備え、町内の防災備蓄拠点に配備します。

炭きのこの森づくりと炭づくり体験会 づくりにジャガイモの収穫

9月20日、森林センターにて『きのこの森づくりと炭づくり体験会』が開催されました。

はじめに、移動式炭化炉にミズナラの木をみんなで詰め込んで、火を付けて炭づくり体験を行った後、5月にシイタケの駒菌を植えたミズナラのほだ木の本伏せ作業や園内にある畑でジャガイモの収穫作業を行いました。

当日は、気温も暖かく、参加者は良い汗をかきながら、秋ならではの行事を楽しみました。



新古本市 たな本との出会いを求めて

9月28日、厚岸情報館にて『古本市』が開かれました。

7月の『本の森フェスティバル』での開催は悪天候のため中止となってしまいましたが、開催を望む声が多く寄せられ、今回、改めての開催となりました。

会場には小説や児童書、コミック、CD、DVDなど多彩な品が並び多くの人でにぎわいました。

訪れた人は、掘り出し物を探しながら本の話に花を咲かせ、読書の秋をゆったりと楽しむひとときとなりました。

安第75回社会を明るくする運動セレモニー 全・安心な社会を目指して

9月18日、厚岸情報館2階視聴覚室にて『第75回社会を明るくする運動及び令和7年度青少年の被害・非行防止道民総ぐるみ運動』が開催されました。

この運動は、犯罪や非行をなくし、すべての人が安心して暮らせる地域を目指すという全国的な取り組みです。

会場では、町内の小学校から高校までの代表生徒4名が登壇し、『いじめ防止宣言』や『薬物乱用防止宣言』を行い、明るい社会づくりへの強い思いを語りました。

